

新型コロナウイルス感染拡大に伴う食品ロス発生状況に関する調査結果

1. 調査の概要

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国民に新たなライフスタイルが普及しつつあることを踏まえ、家庭内での食品ロスの発生や食品に関わる行動に対してどのような影響を及ぼしているか把握することを目的とし、消費者ネットモニターアンケート調査を実施した。

具体的には、Web モニターを対象とした消費者アンケート調査を計 2 回（第 1 回（1 回目の緊急事態宣言前後についての調査）：2020 年 7～8 月、第 2 回（第三波新型コロナウイルス感染拡大前後についての調査）：2021 年 3 月）実施し、家庭での食事機会の増減状況、買い物頻度・一度に購入する量の変化、食品ロス（直接廃棄・食べ残し）の発生状況の変化等について、現況の把握を行った。

なお本調査の実施にあたっては、事前に全国の Web モニターを対象としたスクリーニング調査を実施し、「家庭内で買い物および食事の準備を日常的に担当している、18 歳以上の男女」を対象とした。

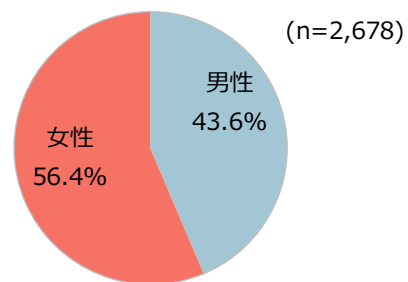
図表 1 消費者アンケートの実施概要

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 調査対象：第 1 回、第 2 回調査にいずれも回答した、家庭内で買い物および食事の準備を日常的に担当している 18 歳以上の男女 (n=2,678)● 調査期間<ul style="list-style-type: none">第 1 回：2020 年 7 月 31 日～8 月 4 日第 2 回：2021 年 3 月 11 日～3 月 12 日● 調査方法<ul style="list-style-type: none">民間調査会社に登録する Web モニターを対象とした消費者アンケート● 主な調査項目<ul style="list-style-type: none"><家庭での食事、食品の買い物について><ul style="list-style-type: none">・朝食・昼食・夕食を「自宅で」食べる平均的な人数・食品・食材の入手方法別、買い物頻度・頻度の増減状況
(「小売店での買い物」「配達、宅配」「テイクアウト (デリバリー・総菜等を含む)」)・食品・食材を一度に購入する量の変化<食品ロスの発生について><ul style="list-style-type: none">・家庭での食品ロス (直接廃棄・食べ残し) の発生量・頻度の変化 / など |
|--|

図表 2 本調査の回答者属性 (n=2,678)

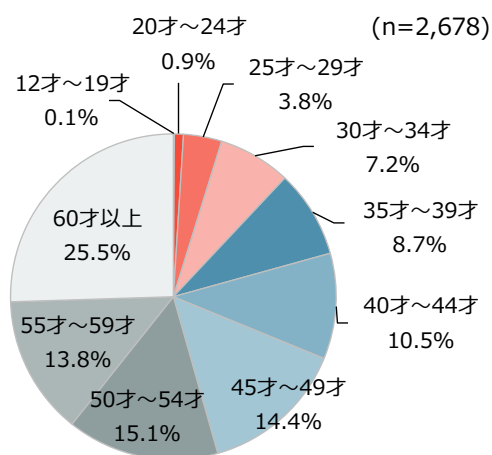
(1) 性別

単一回答	n	%
全体	(2678)	
1 男性	1,167	43.6
2 女性	1,511	56.4



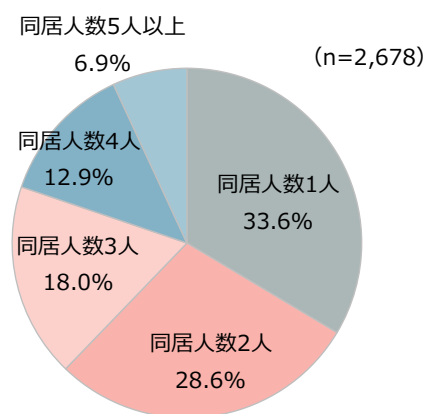
(2) 年齢

単一回答	n	%
全体	(2678)	
1 12才未満	0	0.0
2 12才～19才	4	0.1
3 20才～24才	25	0.9
4 25才～29才	103	3.8
5 30才～34才	192	7.2
6 35才～39才	233	8.7
7 40才～44才	280	10.5
8 45才～49才	385	14.4
9 50才～54才	404	15.1
10 55才～59才	370	13.8
11 60才以上	682	25.5



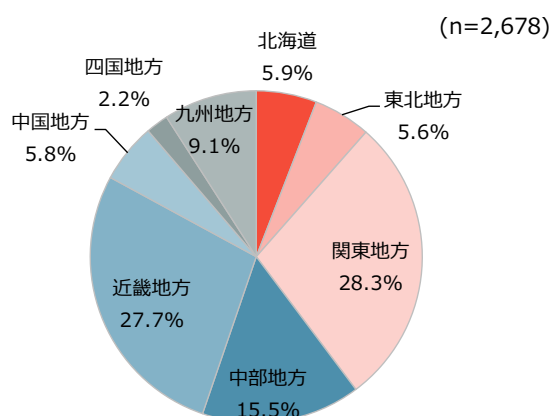
(3) 同居人数

単一回答	n	%
1 同居人数1人	899	33.6
2 同居人数2人	767	28.6
3 同居人数3人	482	18.0
4 同居人数4人	345	12.9
5 同居人数5人以上	185	6.9
全体	2,678	100.0



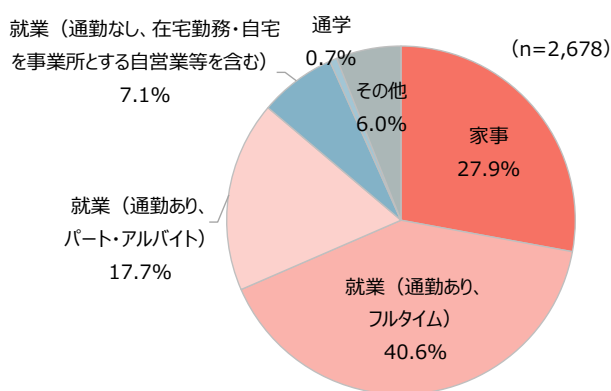
(4) 居住地

単一回答	n	%
全体	(2678)	
1 北海道	157	5.9
2 東北地方	151	5.6
3 関東地方	758	28.3
4 中部地方	414	15.5
5 近畿地方	741	27.7
6 中国地方	154	5.8
7 四国地方	58	2.2
8 九州地方	245	9.1



(5) 就労状況

単一回答	n	%
1 家事	747	27.9
2 就業 (通勤あり、フルタイム)	1,087	40.6
3 就業 (通勤あり、パート・アルバイト)	474	17.7
4 就業 (通勤なし、在宅勤務・自宅を事業所とする自営業等を含む)	191	7.1
5 通学	18	0.7
6 その他	161	6.0
全体	2,678	100.0



※2019年12月頃の就労状況

2. 調査結果

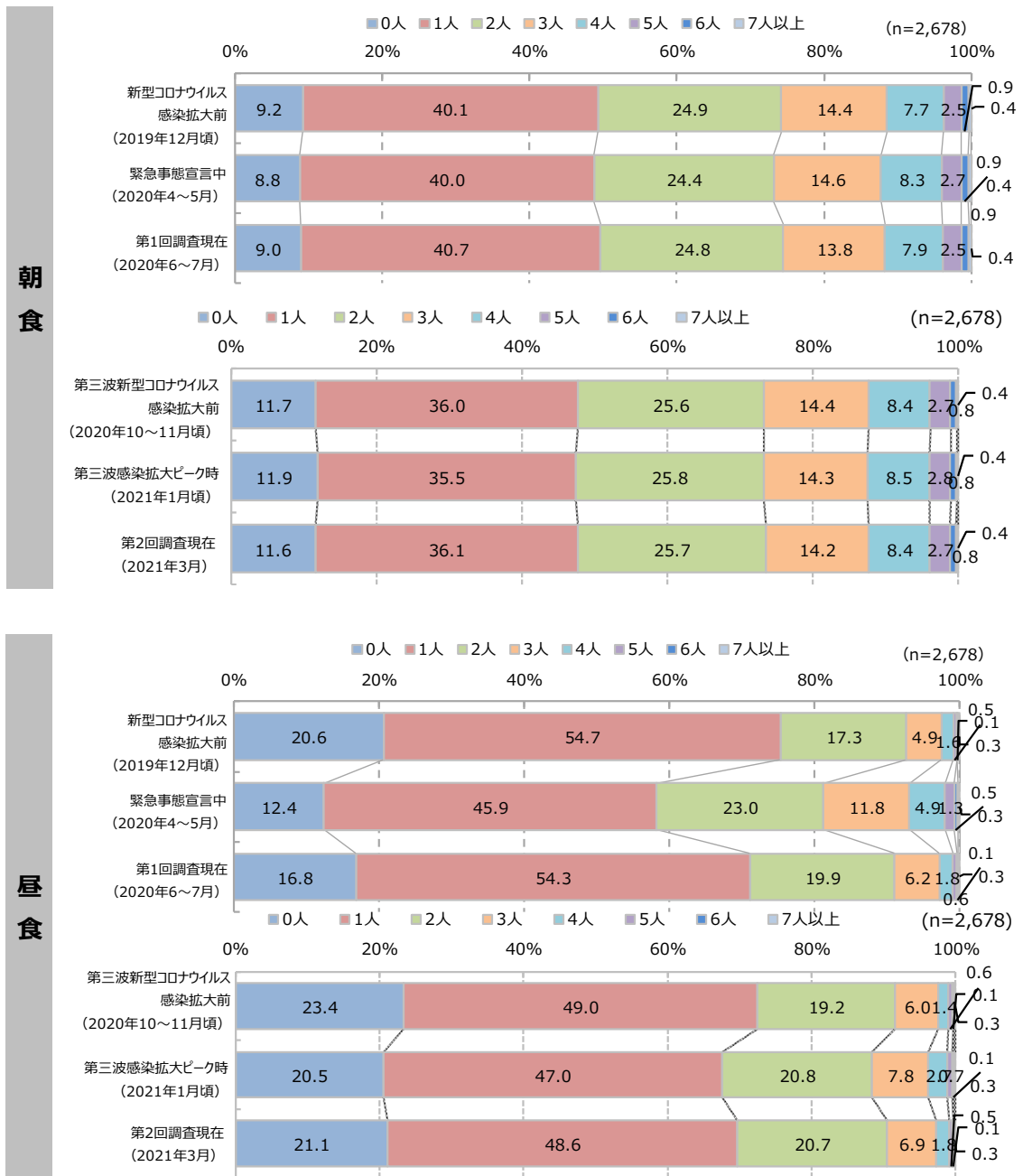
2.1 家庭での食事、食品の買い物について

(1) 朝食・昼食・夕食を「自宅で」食べる平均的な人数

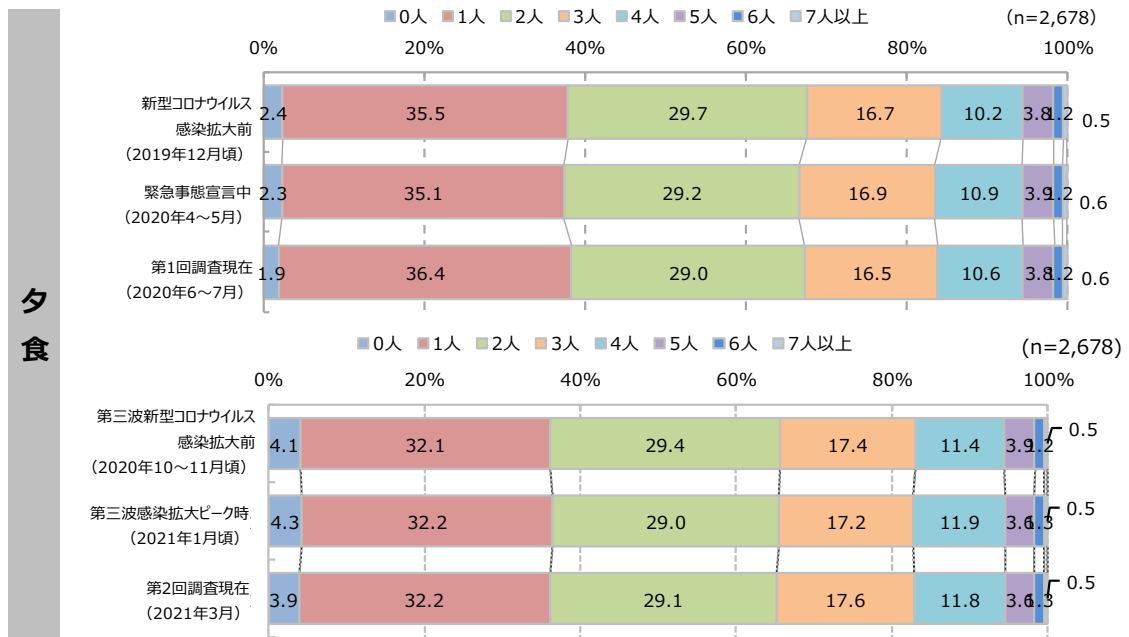
2020年4～5月の緊急事態宣言前後、および2021年1月頃の第三波感染拡大ピーク前後の各時点における、朝食・昼食・夕食を自宅で食べる人数を把握した。

得られた回答より平均的な人数を算出したところ、朝食および夕食の平均人数は、時期による大きな変化は見られなかった。一方、昼食の平均人数は、1.16人(2019年12月頃)、1.58人(2020年4～5月)、1.25人(2020年6～7月)、1.17人(2020年10～11月頃)、1.29人(2021年1月頃)、1.23人(2021年3月)と変化していた。1回目の緊急事態宣言中に平均人数が増加し、2020年10～11月頃には新型コロナウイルス感染拡大前と同水準まで減少、2021年1月頃に再び増加、という推移で、昼食時の在宅状況が変化していることが確認された。

図表 3 朝食・昼食・夕食を「自宅で」食べる人数（各時点について単一回答）



図表3 朝食・昼食・夕食を「自宅で」食べる人数（続き）



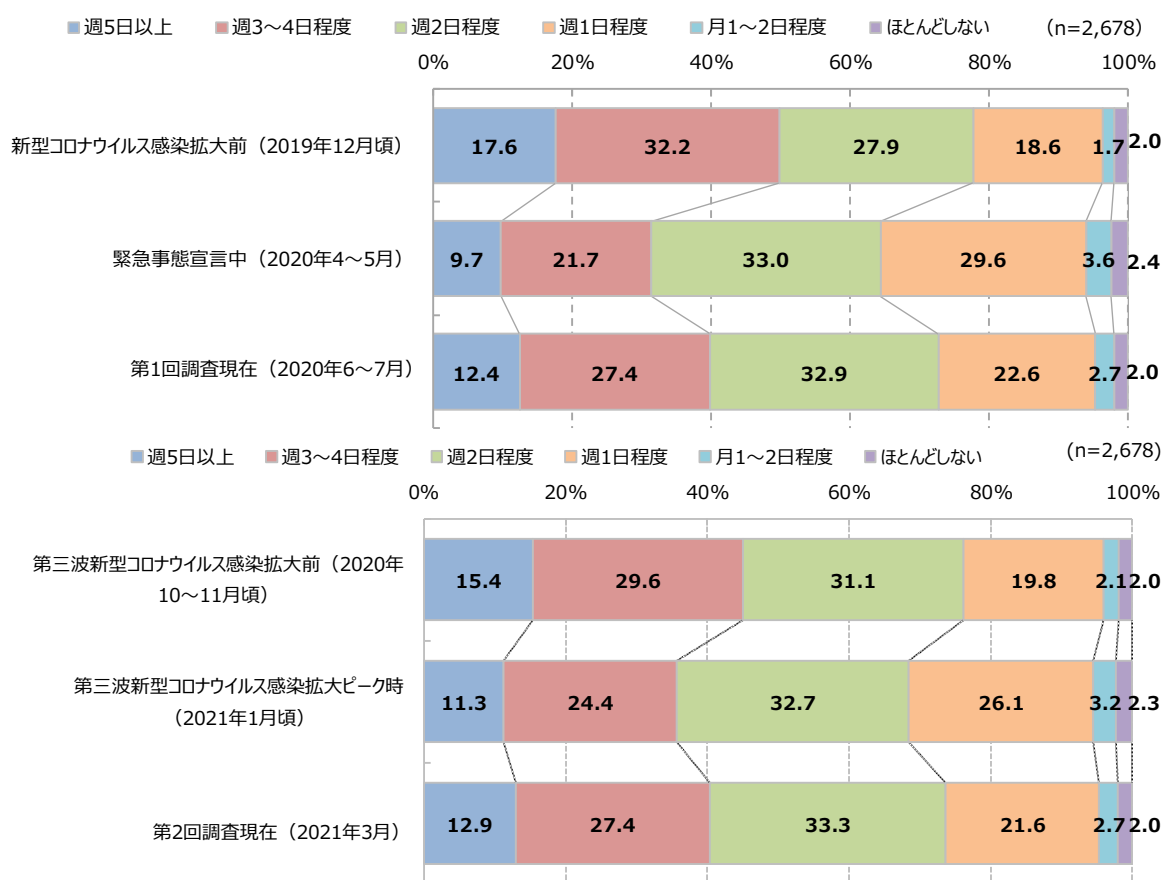
	単一回答	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	平均人数 (人)	
朝食	新型コロナウイルス感染拡大前 (2019年12月頃)	2,678	246	1,074	666	386	205	66	25	10	1.84	
	緊急事態宣言中 (2020年4~5月)	2,678	235	1,071	654	390	221	72	24	11	1.87	
	第1回調査現在 (2020年6~7月)	2,678	240	1,090	664	370	211	68	25	10	1.84	
	第三波新型コロナウイルス感染拡大前 (2020年10~11月頃)	2,678	312	964	686	386	224	73	22	11	1.85	
	第三波感染拡大ピーク時 (2021年1月頃)	2,678	318	951	691	383	228	74	22	11	1.86	
	第2回調査現在 (2021年3月)	2,678	311	968	689	380	226	72	22	10	1.85	
	昼食	新型コロナウイルス感染拡大前 (2019年12月頃)	2,678	552	1,465	464	130	43	13	3	8	1.16
		緊急事態宣言中 (2020年4~5月)	2,678	332	1,228	615	317	131	35	13	7	1.58
		第1回調査現在 (2020年6~7月)	2,678	451	1,453	534	166	49	15	3	7	1.25
第三波新型コロナウイルス感染拡大前 (2020年10~11月頃)		2,678	627	1,311	515	162	38	15	3	7	1.17	
第三波感染拡大ピーク時 (2021年1月頃)		2,678	549	1,258	557	209	72	20	4	9	1.29	
第2回調査現在 (2021年3月)		2,678	564	1,302	555	184	48	14	3	8	1.23	
夕食		新型コロナウイルス感染拡大前 (2019年12月頃)	2,678	63	951	796	448	272	101	33	14	2.16
		緊急事態宣言中 (2020年4~5月)	2,678	62	939	783	452	291	104	32	15	2.18
		第1回調査現在 (2020年6~7月)	2,678	51	975	777	442	284	103	31	15	2.16
	第三波新型コロナウイルス感染拡大前 (2020年10~11月頃)	2,678	109	859	788	467	305	104	33	13	2.19	
	第三波感染拡大ピーク時 (2021年1月頃)	2,678	116	863	777	460	318	97	34	13	2.19	
	第2回調査現在 (2021年3月)	2,678	105	863	780	470	316	96	35	13	2.20	

※「平均人数 (人)」については、回答を加重平均して値を算出している。(「7人以上」は7人として計算。)

(2) 食品・食材の買い物頻度

2020年4～5月の緊急事態宣言前後、および2021年1月頃の第三波感染拡大ピーク前後の各時点における、食品・食材の買い物頻度を把握した。得られた回答より平均的な買い物頻度を算出したところ、2.76回(2019年12月頃)、2.21回(2020年4～5月)、2.47回(2020年6～7月)、2.63回(2020年10～11月頃)、2.35回(2021年1月頃)、2.50回(2021年3月)と変化しており、1回目の緊急事態宣言中、第三波感染拡大ピーク中に買い物頻度が減少、特に1回目の緊急事態宣言中に頻度が減少していることが確認された。

図表 4 食品・食材の買い物頻度 (各時点について単一回答)



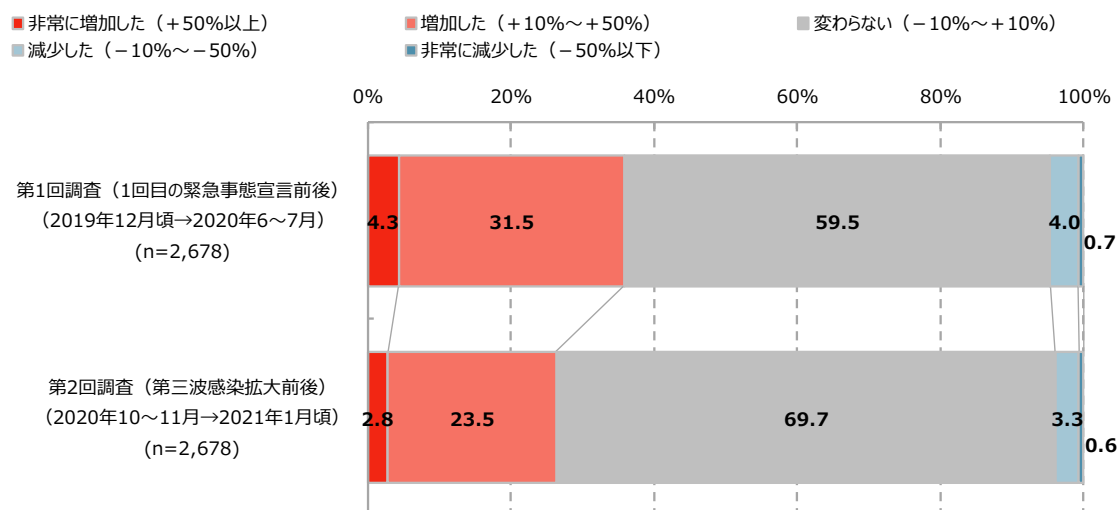
調査時点	全体	週5日以上	週3～4日程度	週2日程度	週1日程度	月1～2日程度	ほとんどしない	平均頻度 (回/週)
単一回答								
1 新型コロナウイルス感染拡大前 (2019年12月頃)	2,678	472	863	746	498	46	53	2.76
2 緊急事態宣言中 (2020年4～5月)	2,678	260	581	883	792	97	65	2.21
3 第1回調査現在 (2020年6～7月)	2,678	332	735	880	605	72	54	2.47
4 第三波新型コロナウイルス感染拡大前 (2020年10～11月頃)	2,678	413	792	834	530	55	54	2.63
5 第三波新型コロナウイルス感染拡大ピーク時 (2021年1月頃)	2,678	302	653	877	699	85	62	2.35
6 第2回調査現在 (2021年3月)	2,678	346	735	892	578	73	54	2.50

※「平均頻度 (回/週)」については、回答を加重平均して値を算出している。「週5日以上」は週5回、「週3～4日程度」は週3.5回、「月1～2日程度」は週0.35回、「ほとんどしない」は週0回として計算。

(3) 買い物で食品・食材を一度に購入する量の変化

買い物で食品・食材を一度に購入する量の変化について、一回の買い物で使う金額を目安として把握した。2020年4～5月の緊急事態宣言前後においては、「非常に増加した（+50%以上）」「増加した（+10%～+50%）」が35.8%を占めたのに対し、2021年1月頃の第三波感染拡大ピーク前後においては26.3%にとどまった。

図表 5 買い物で食品・食材を一度に購入する量（単一回答）



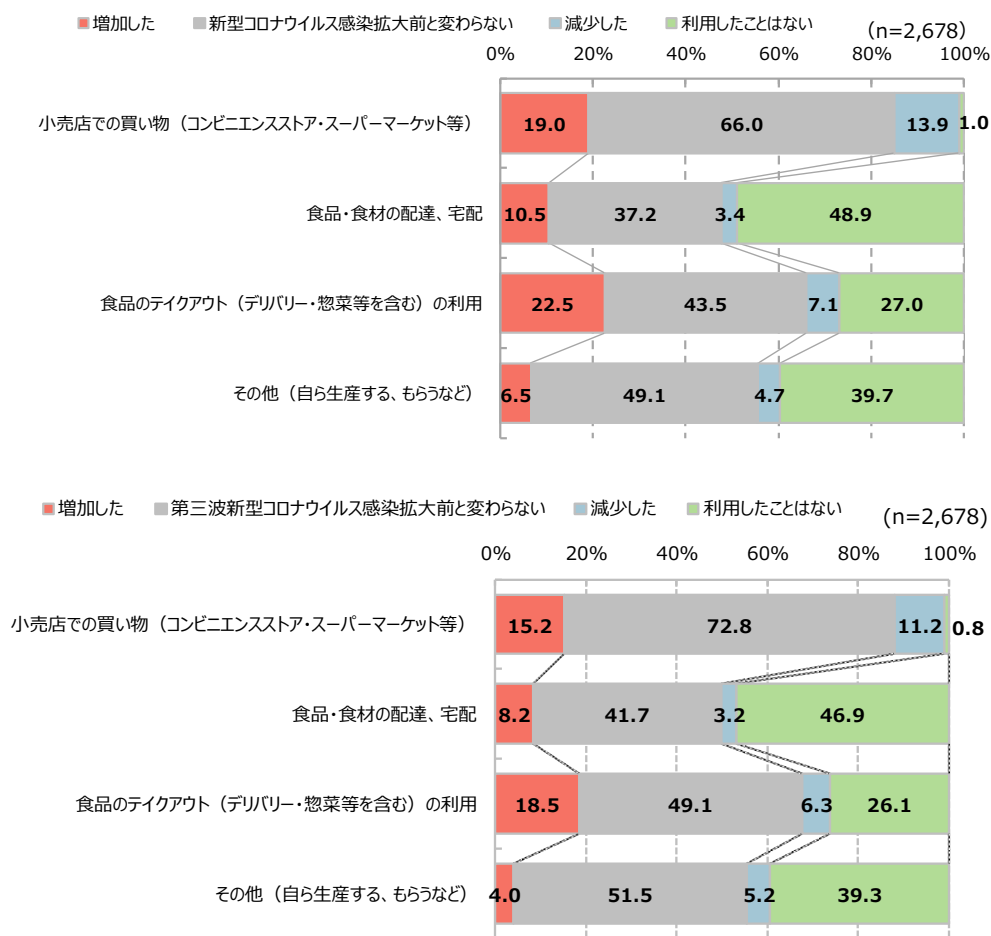
単一回答	第1回調査 (1回目の緊急事態宣言前後)		第2回調査 (第三波感染拡大前後)	
	n	%	n	%
1 非常に増加した (+50%以上)	116	4.3	76	2.8
2 増加した (+10%～+50%)	843	31.5	630	23.5
3 変わらない (-10%～+10%)	1,594	59.5	1,866	69.7
4 減少した (-10%～-50%)	107	4.0	89	3.3
5 非常に減少した (-50%以下)	18	0.7	17	0.6
全体	2,678	100.0	2,678	100.0

(4) 食品・食材の入手方法別利用頻度の変化

食品・食材の入手方法別利用頻度の変化を把握した。いずれの入手方法においても、「利用したことはない」の回答を除くと、「新型コロナウイルス感染拡大前と変わらない」が最も多かった。

各入手方法を比較すると、「食品のテイクアウト（デリバリー・惣菜等を含む）の利用」が増加したと回答した割合が高く、2020年4～5月の緊急事態宣言前後においては22.5%、2021年1月頃の第三波感染拡大ピーク前後においては18.5%であった。

図表 6 食品・食材の入手方法別利用頻度の変化（単一回答）
（上：第1回調査、下：第2回調査）



	全体	第1回調査（1回目の緊急事態宣言前後）				第2回調査（第三波感染拡大前後）			
		増加した	新型コロナウイルス感染拡大前と変わらない	減少した	利用したことはない	増加した	第三波新型コロナウイルス感染拡大前と変わらない	減少した	利用したことはない
1 小売店での買い物（コンビニエンスストア・スーパーマーケット等）	2,678	510	1,768	373	27	408	1,949	299	22
	100.0	19.0	66.0	13.9	1.0	15.2	72.8	11.2	0.8
2 食品・食材の配達、宅配	2,678	282	995	91	1,310	220	1,116	86	1,256
	100.0	10.5	37.2	3.4	48.9	8.2	41.7	3.2	46.9
3 食品のテイクアウト（デリバリー・惣菜等を含む）の利用	2,678	602	1,165	189	722	495	1,316	168	699
	100.0	22.5	43.5	7.1	27.0	18.5	49.1	6.3	26.1
4 その他（自ら生産する、もらうなど）	2,678	175	1,314	127	1,062	108	1,379	138	1,053
	100.0	6.5	49.1	4.7	39.7	4.0	51.5	5.2	39.3

2.2 食品ロスの発生について

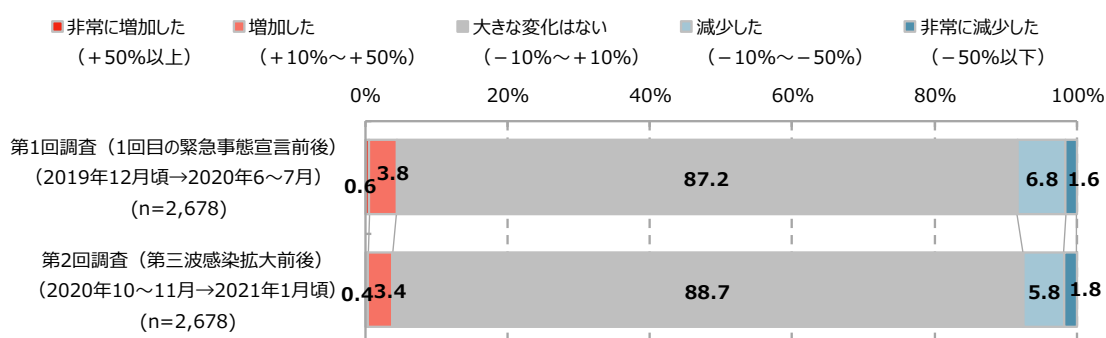
(1) 食品・食材の直接廃棄の量・頻度の変化

家から発生する食品・食材の直接廃棄（未使用のまま捨てたもの）の量・頻度の変化を把握した。量・頻度いずれについても、「大きな変化はない（-10%～+10%）」が90%近く、量について「非常に増加した（+50%以上）」「増加した（+10%～+50%）」と回答した割合は1回目の緊急事態宣言前後においては4.4%、2021年1月頃の第三波感染拡大ピーク前後においては3.9%と大きな変化はなかった。

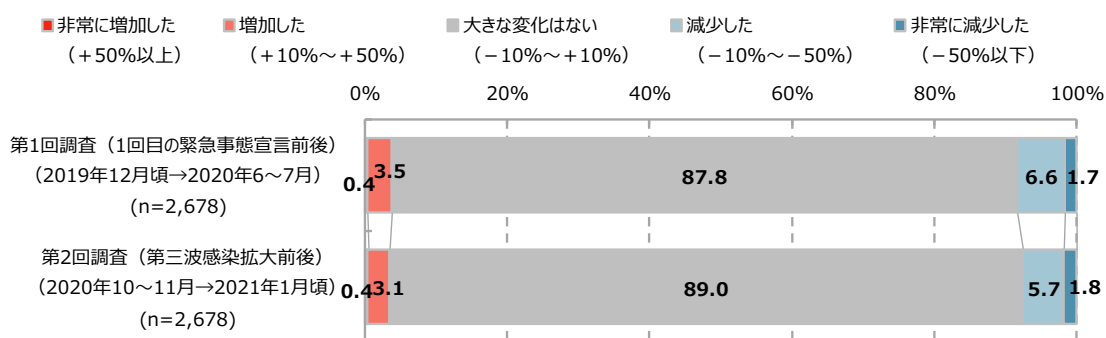
「非常に減少した（-50%以下）」「減少した（-10%～-50%）」と回答した割合は1回目の緊急事態宣言前後においては8.4%、2021年1月頃の第三波感染拡大ピーク前後においては7.6%と同じく大きな変化はなかったが、いずれの時期においても増加傾向より減少傾向の方が高い割合となった。頻度についても同様の傾向で、いずれの時期においても増加傾向より減少傾向の方が高い割合となった。

図表 7 食品・食材の直接廃棄の量・頻度の変化（量・頻度について単一回答）

<量について>



<頻度について>



	単一回答	全体	非常に増加した (+50%以上)	増加した (+10%～+50%)	大きな変化はない (-10%～+10%)	減少した (-10%～-50%)	非常に減少した (-50%以下)
1 量について	第1回調査 (1回目の緊急事態宣言前後) (2019年12月頃→2020年6～7月)	2,678	15	102	2,336	182	43
		100.0	0.6	3.8	87.2	6.8	1.6
2 頻度について	第2回調査 (第三波感染拡大前後) (2020年10～11月→2021年1月頃)	2,678	10	91	2,375	154	48
		100.0	0.4	3.4	88.7	5.8	1.8
1 量について	第1回調査 (1回目の緊急事態宣言前後) (2019年12月頃→2020年6～7月)	2,678	10	93	2,352	177	46
		100.0	0.4	3.5	87.8	6.6	1.7
2 頻度について	第2回調査 (第三波感染拡大前後) (2020年10～11月→2021年1月頃)	2,678	11	82	2,383	153	49
		100.0	0.4	3.1	89.0	5.7	1.8

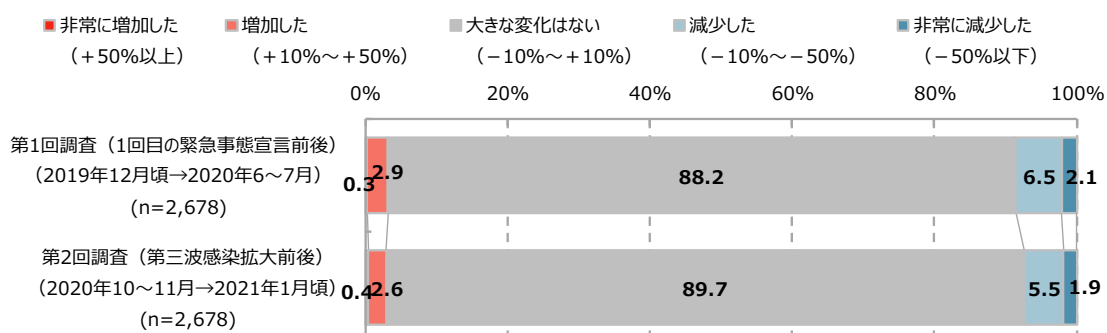
(2) 食品・食材の食べ残しの量・頻度の変化

家から発生する食品・食材の食べ残しの量・頻度の変化を把握した。量・頻度いずれについても、「大きな変化はない（-10%~+10%）」が90%近く、量について「非常に増加した（+50%以上）」「増加した（+10%~+50%）」と回答した割合は1回目の緊急事態宣言前後においては3.2%、2021年1月頃の第三波感染拡大ピーク前後においては3.1%と大きな変化はなかった。

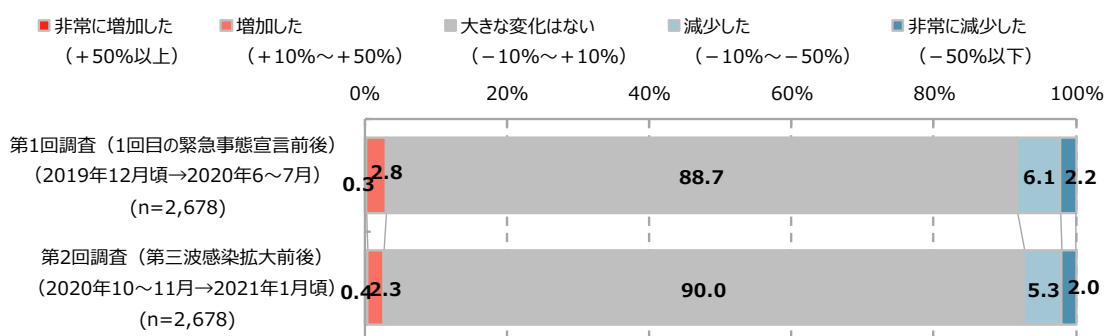
「非常に減少した（-50%以下）」「減少した（-10%~-50%）」と回答した割合は1回目の緊急事態宣言前後においては8.6%、2021年1月頃の第三波感染拡大ピーク前後においては7.4%と同じく大きな変化はなかったが、いずれの時期においても増加傾向より減少傾向の方が高い割合となった。頻度についても同様の傾向で、いずれの時期においても増加傾向より減少傾向の方が高い割合となった。

図表 8 食品・食材の食べ残しの量・頻度の変化（量・頻度について単一回答）

<量について>



<頻度について>



単一回答		全体	非常に増加した (+50%以上)	増加した (+10%~+50%)	大きな変化はない (-10%~+10%)	減少した (-10%~-50%)	非常に減少した (-50%以下)
1 量について	第1回調査 (1回目の緊急事態宣言前後) (2019年12月頃→2020年6~7月)	2,678	13	121	3,643	268	85
		100.0	0.3	2.9	88.2	6.5	2.1
2 頻度について	第1回調査 (1回目の緊急事態宣言前後) (2019年12月頃→2020年6~7月)	2,678	12	114	3,664	250	90
		100.0	0.3	2.8	88.7	6.1	2.2
1 量について	第2回調査 (第三波感染拡大前後) (2020年10~11月→2021年1月頃)	2,678	11	70	2,401	146	50
		100.0	0.4	2.6	89.7	5.5	1.9
2 頻度について	第2回調査 (第三波感染拡大前後) (2020年10~11月→2021年1月頃)	2,678	10	62	2,410	143	53
		100.0	0.4	2.3	90.0	5.3	2.0